

令和 8 年 5 月 26 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 令和8年5月26日（火曜日）

午後1時30分から午後2時30分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

|     |       |     |       |     |        |
|-----|-------|-----|-------|-----|--------|
| 教育長 | 金澤 俊道 | 委 員 | 熊倉 達也 | 委 員 | 廣川 佳予子 |
| 委 員 | 恩田 富太 | 委 員 | 齊藤 春菜 |     |        |

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

|                      |       |                   |       |
|----------------------|-------|-------------------|-------|
| 教育部長                 | 江田 佳史 | 子ども未来部長           | 星野 麻美 |
| 教育総務課長               | 佐藤 陽子 | 教育施設課長            | 野崎 敏行 |
| 学務課長                 | 大竹 美加 | 学校教育課長            | 中村 一幸 |
| 学校教育課主幹兼管理指導主事       | 小嶋 修  | 学校教育課主幹兼管理指導主事    | 本間 祐史 |
| 学校教育課主幹兼管理指導主事       | 佐々木 潤 | 中央図書館長            | 入澤 紀子 |
| 科学博物館長               | 目黒 麻子 | 子ども政策課長           | 松木 祐子 |
| こども家庭センター所長          | 込山 智美 | 保育課長              | 殖栗 正  |
| スポーツ振興課長             | 中山 玄  | 学校教育課企画推進係主査兼指導主事 | 保坂 恵  |
| 学校教育課教育センター教育研究室指導主事 | 中村 周  |                   |       |

6 事務のため出席した者

|          |       |           |      |
|----------|-------|-----------|------|
| 教育総務課長補佐 | 八田 聡子 | 教育総務課庶務係長 | 平澤 司 |
|----------|-------|-----------|------|

(金澤教育長) これより教育委員会 5 月定例会を開会いたします。

◇日程第 1 会議録署名委員の指名について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、廣川委員及び恩田委員を指名いたします。

---

◇日程第 2 議案第 35 号 附属機関委員の委嘱について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 35 号 附属機関委員の委嘱について を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(佐藤教育総務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

---

◇日程第 3 議案第 36 号 補正予算の要求について

(金澤教育長) 日程第 3 議案第 36 号 補正予算の要求について を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(大竹学務課長) <資料に基づき説明>

(殖栗保育課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

---

◇日程第 4 議案第 37 号 条例改正の申出について（長岡市立学校設置条例及び長岡市立学校使用条例の一部改正について）

(金澤教育長) 日程第 4 議案第 37 号 条例改正の申出について（長岡市立学校設置条例及び長岡市立学校使用条例の一部改正について） を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(大竹学務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

---

◇日程第5 議案第38号 条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について）

(金澤教育長) 日程第5 議案第38号 条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について）を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(殖栗保育課長) <資料に基づき説明>

【報告事項：「こども性暴力防止法施行に向けた対応について」も合わせて説明】

(佐藤教育総務課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 法律の施行が令和8年12月25日と時間が迫っています。手落ちなく進めてください。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

---

(金澤教育長) 以上をもちまして、議案の審議を終了いたします。

---

(金澤教育長) 続きまして報告事項に移ります。コウノトリの営巣（栃尾地域）について事務局の説明をお願いします。

(目黒科学博物館長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(熊倉委員) 専門家の派遣に必要な財政負担は、長岡市が負担するのですか。

(目黒科学博物館長) 専門家の派遣に必要な旅費と宿泊費は長岡市が負担します。

(金澤教育長) 経費もかかり大変ですが、幸せを運んでくるといいですね。来年も同じ場所に巣を作る可能性が高いそうです。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 次に、児童生徒の生成AI活用開始に向けて について、事務局の説明をお願いします。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) <資料に基づき説明>

(保坂学校教育課企画推進係主査兼指導主事) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) 資料8ページ「2.2 ファクトチェックの育成」について教えてください。子どもたちがこれからAIを使うなかで、ファクトチェックを意識して実践することが大切になります。複数の情報源でのクロスチェックは、Gemini だけでは情報源が偏るという認識があります。一般的に使われているAIは4種類ありますが、同じことを投げかけても答えはそれぞれ違うため、クロスチェックは有効だと思います。Gemini 以外でクロスチェックをする時には、踏み込んだ問いかけが必要になると思います。どのようにお考えですか。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) ソースを表示するように Gemini に指示をすると情報元のソースが出てきます。子どもたちがソースを自ら確認し、公的なものか、私的に作られたものかを自分自身で考えることができるような授業をしたいと思います。

(廣川委員) 先生が伴走型の授業をするイメージですか。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) 常に子どもたち一人ひとりに付くことはできませんが、全体に向けて使い方を繰り返し教えていく必要があると思います。

(廣川委員) 生成AIを活用するにあたり、ハルシネーションやバイアスのリスクを乗り越える必要があり、そのためには子どもたち自身が生成物の真偽を見定めることが重要となります。そのことについてどのようにお考えですか。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) 現場の先生には、子どもたちに自分の考えを持ちなさいと指導して欲しいと思います。そうすることで、生成AIを使用して仮に自分の考えと違う答えが返ってきても、その答えに対して子どもたちが更に思考を深めるきっかけになると思います。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) 私は日頃から生成AIを使用していて、長所と短所を実感しています。先日、子どもと一緒に生成AIを使用してハルシネーションのリスクを実体験しました。生成AIの利用方法については大人の社会でも賛否が大きく分かれている状況にあると思います。大人の意見が分かれているものを教材として提示された時、子どもたちがどのように理解して使用するのか見守っていく必要があると思います。先ほどの話にもありましたが、ファクトチェックの話に繋げて、クロスチェックをするという行為は、教科書や辞書のような書物を扱う時にも必要な姿勢だと思っています。ただし、実物の書物は大人の編集が入り、一定の正しさが担保されていますが、生成AIには大人の編集が入っていません。

「1.2 基本姿勢」には子どもたちが生成AIを主体的に活用し、その成果物に自ら責任をもつと記載されており、ハードルが高いと感じていますが、生成AIを適切に使用するために授業で工夫する方法があればお教えてください。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) Gemini や NotebookLM についても、こちらがソースを指定して、指定したソースの中から答えてくださいと生成AIに指示することで、限定された情報が出てきます。このような限定的な使い方が小学生には適していると思います。

中学生はもう少し開かれた情報を扱うことになりますが、ご指摘のとおり間違っただけの情報に触れる頻度が高くなります。情報リテラシーとして、常に子どもたちにはハルシネーションが起こる可能性があることに十分留意してもらい、生成 AI を使って作成した生成物を自分のものとして世に出す時には、出典をしっかりと調べて、本当に大丈夫だと確信を持ったものを世に出すことを何度も繰り返し指導していきたいと思います。

(恩田委員) 学年によって使い方を変えていき、大人の管理の範囲も段階的に手を放していくということですね。

(齊藤委員) 先生は研修などを通して生成 AI について勉強し、子どもに対して指導するわけですが、生成 AI を使い慣れていない保護者に向けて、分かりやすく教えていただける機会があると良いと思います。

(保坂学校教育課企画推進係主査兼指導主事) 学校での生成 AI の使用例を何件か「こめぷら」に掲載しています。保護者会や PTA の集会などで活用してもらうように学校を通してアナウンスしています。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(熊倉委員) 資料 13 ページの「教職員が児童生徒の学習活動で生成 AI を利活用させる際のチェック項目シート」ですが、チェック項目の内容が妥当であり、よくできていると思います。生成 AI は人間が作ったプログラムであり、ハルシネーションやバイアスなどの特有のリスクが潜んでいることを理解させ、生成物を自ら何も判断せずにそのまま自分の成果物として出すことの危険性について、強調していかなければならないと思います。また、レポートを生成 AI で簡単に作って提出してはいけなくて子どもたちに確実に伝えることも大事だと考えます。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) 子どもたちの評価について、生成 AI が作成した成果物だけをもって評価しないように、徹底して教員に指導していきたいと思います。成果物を作成するにあたり、子どもたちが生成 AI とどのようなやり取りをして、自分はどのように思ったのかという部分を特に評価したいと思います。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(恩田委員) 資料 16 ページの授業をしている教職員を対象としたアンケート結果では、自身の授業に生成 AI を取り入れたいと回答した教職員が 27%となっています。一方で、資料 15 ページの生成 AI の校務での活用状況は 91.3%となっています。この結果を踏まえると、生成 AI を授業で使うことに対しては慎重で有効性を認めていないと感じます。今後、自身の授業に生成 AI を取り入れたいという数字をもっと上げていく必要があるとお考えですか。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) 資料 16 ページのアンケートで「わからない・考えていない」と回答した方が 40.5%となっていますが、現場の教職員にヒアリングしたところ「そもそも使い方が分からない」という意見が多く、自分は校務としては使えるがどのように授業で使ったら良いのか分からないという回答でした。安全で子どもたちの考え

が深まる使い方を教職員に指導していくことで数字が上がっていくと良いなと思います。  
(恩田委員) 「わからない・考えていない」という回答が、生成 AI が使い物にならない  
ということではなく、使い方が「わからない」ということだと分かりました。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(廣川委員) 中村先生と皆さんのやり取りの中で、生成 AI を授業で活用するにはプロセス  
が大切であると話されていたことが印象的でした。ソースを確認して成果物を紐解い  
ていくと、そこに至るまでのデータのプロセスが残っています。逆算してゴールからスタ  
ートまでのデータのプロセスを先生方が確認することで、子どもたちがどのように生成  
AI と向き合い、どのように感じたのかを知るきっかけになるとと思います。

(中村学校教育課教育センター教育研究室指導主事) 長岡市は個別最適な学びに力を入れています。子  
どもたちのゴールの方向や距離は一人ひとり違います。そのような子どもたちがそれぞれ  
どのような学びを実感したのかを、教員が生成 AI のログを見て確認することは有意義な  
ことだと思います。今後の参考にさせていただきます。

(金澤教育長) 他にいかがですか。

(金澤教育長) 資料 18 ページに記載されているとおり、小学 4 年生～中学 3 年生の内、  
既に 8 割以上の子どもたちが生成 AI に触れているという現実を重く受け止めなくてはは  
いけません。今の子どもたちが大人になった時の社会は、AI から離れられないと思い  
ます。資料 19 ページに基本姿勢の留意点がまとめてありますが、小・中学生の間にリテラシー  
を学ぶことが絶対に必要なことだと思います。AI との付き合い方を十分配慮して、それ  
を現場と共有して、子どもたちが優れた正しい AI の使い手になれるような意識を醸成す  
る指導を強く要望したいと思います。AI は危ないから使わせないことは時代に乗り遅れ  
ることに繋がります。少し前はスマートフォンを持たせる、持たせないで悩んでいる時代  
がありましたが、現在は 8 割以上の中学生と、小学生の半分以上が所持しています。長岡  
の子どもたちに AI を正しく活用する能力をしっかりと身に付けさせてもらいたいと思  
います。

---

(金澤教育長) 次に、令和 7 年度第 2 回スポーツ推進審議会報告について 事務局の説明  
をお願いします。

(中山スポーツ振興課長) <資料に基づき説明>

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 委員から出された主な意見の中に、部活動地域展開になったことで保護者  
の負担が部活動と比べて約 3 倍になると言われている旨の発言がありますが、この意見  
に対してスポーツ振興課はどのように答えましたか。

(中山スポーツ振興課長) 部活動地域展開の運営主体である(公財)長岡市スポーツ協会  
の職員もオブザーバーとして出席しており、会議の中で、長岡市の行政を取り巻く状況を  
踏まえた説明をさせていただきました。

(金澤教育長)    ありがとうございました。他にいかがですか。

(金澤教育長)    御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長)    これをもちまして、報告事項を終了いたします。

---

(金澤教育長)    それでは次に、催し案内等について説明願います。

(中村学校教育課長)                      <資料に基づき説明>

(入澤中央図書館長)                      <資料に基づき説明>

(目黒科学博物館長)                      <資料に基づき説明>

(松木子ども政策課長)                      <資料に基づき説明>

(金澤教育長)    催し案内等について、御質疑等がありますか。

(金澤教育長)    ネィチャートークの会場はミライエ長岡のミライエステップと広い会場で開催されますが、参加人数を定員 40 人に絞っている理由はありますか。

(目黒科学博物館長)    座席の数に余裕を持たせていますが、定員以上に応募がある時には調整ができると思います。

(金澤教育長)    他に、いかがですか。

(恩田委員)    今回の催し案内の内容ではありませんが、先日、長岡市川口地域で開催された「防災ピクニック」に小学生の子どもと参加しました。集客が非常に悪く、子どもは川口小学校と新組小学校から各一人の参加で合計二人であり、他には保護者と関係者がいるだけの状態でした。関係者に尋ねると昨年度までは各学校にチラシを配付していたが、今年度は子どもが学校で使用している端末に PDF データの案内を送付したのみで、結果として集客が上手くいかなかったとのことでした。ペーパーレス化の取組の一環だと思いますが、この件で問題提起はありましたか。

(中村学校教育課長)    一般的な話として、市の事業であつたり、市が共催・後援している事業等であれば、紙のチラシを各学校に配付しています。今回のイベントがどのような経緯で PDF データになったのか、学校の事務負担の軽減とも考えられますが、詳しい経緯については把握していません。

(恩田委員)    従来は紙のチラシを関係各所に配置したり、新聞に掲載していたが、今回は端末の配信だけになったと聞いています。

(保坂学校教育課企画推進係主査兼指導主事)    本件に関してはこめぶらに掲載依頼がありましたので、こめぶらで公開したものです。令和 8 年 5 月 16 日実施の「防災ピクニック」で間違いないでしょうか。

(恩田委員)    はい、そうです。

(保坂学校教育課企画推進係主査兼指導主事)    本件を主催した NPO 法人くらしサポート越後川口から依頼があり、こめぶらで「防災ピクニック」の事業を公開した履歴があります。

(恩田委員)    子どもたちや保護者にこめぶらでイベントを検索する習慣がないと、情報の

伝達が上手くいかない事例だと思いました。

(金澤教育長) 他に報告事項はありませんか。

---

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会いたします。

(金澤教育長) ありがとうございました。

---

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員